

世代、地域を越えた交流を



おごじよパワーと芋ザイル

12月12日、末吉総合センターで「やる気・元気・おごじよパワーイベント2013」が開催されました。これは、農家の女性を中心として平成10年に始まり、今回で16回目を迎えました。今年、串間市の甘藷農家で結成されたパフォーマンスユニット「芋ザイル」が講師に招かれ、講演とパフォーマンスで会場を盛り上げました。また、恒吉青年団も農業をテーマとした劇を披露しました。会場には、若手農家が多く集まり、世代、地域を越えて楽しく交流を深めていました。

郷土の素材を活かした商品開発



商品を手にする家庭クラブのメンバー

財部高校の生徒が開発した「ユズかるかん」と「紫いもかるかん」が、昨年12月から道の駅たからべで販売され、好評を集めています。開発に携わったのは、同校家庭クラブの12名。道の駅から「かるかんを作って欲しい」と依頼を受け、全校アンケートの結果を元に、素材を決定。ユズの酸味を中和させるために白玉を入れるなど、高校生のアイデアが詰まった一品です。一年生の川路彩乃さんは「皆さんが美味しく食べてくれることが嬉しいです」と話しました。

霧島ジオパークトレッキングで爽快



ジオサイトを観察しながら12キロを完歩

12月14日、霧島ジオパークを巡るトレッキングが開催されました。これはジオパークの魅力を広めようと、市観光特産開発センターが都城市などと共同で平成24年から行っています。当日は60名が参加。観光ガイドの解説を聞き、地質や植物を観察しながら大川原峡から関之尾滝まで約12キロを歩きました。参加者からは、「財部のジオサイトの美しさに感動した」、「地質の説明が分かりやすく勉強になった」との声が聞かれ、ジオパークの魅力が十分に伝わったようでした。

笑って健康に過ごそう



ケーシー高峰さん（左）、三遊亭歌之介さん（右）

12月21日、財部きらめきセンターでケーシー高峰さんと三遊亭歌之介さんによる「二人会」が行われました。テレビなどでおなじみの二人とあって、会場には、早い時間から多くのお客さんが集まりました。ステージが始まると、歌之介さんの鹿兒島弁を使つての落語、ケーシーさんの医療漫談に、満員となった会場は爆笑の渦に巻き込まれました。歌之介さん、ケーシーさんが共にステージで話した「笑うことで健康に」を実感できる一日となりました。

「人権の花」運動閉校式



岩北小学校児童 17 名と岩北幼児学園の園児 5 名

12月13日、岩北小学校で「人権の花運動」の閉校式が行なわれました。式では、ひまわりの写真を見ながら駒走校長が活動をふり返り、五位塚市長と山人権擁護委員が、「相手の身になって考え行動してください」と話されました。また、法務局より感謝状と人権まもる君、人権あゆみちゃんのぬいぐるみが贈られました。学校を代表して6年生の榮森みづえさんが「この活動をきっかけに人権について考えていきたい」と決意のこぼを述べました。

ねりんピック



左から徳増さん、須田さん、西村さん

ねりんピックよさこい高知2013（昨年10月末、高知県で開催）の彫刻部門で、岩崎の徳増徳雄さんの作品が高知県知事賞（最優秀賞）に輝きました。徳増さんは「生涯学習講座で学んだ成果を、周りの方に認めていただいた結果でしょう。今後も曾於市の文化芸術を広めていきたい」と受賞の喜びを話しました。また、来年度のねりんピック（栃木県）には、今年度の県シルバー文化作品展で上位入賞された須田久さん、西村哲美さんの作品が出品されます。

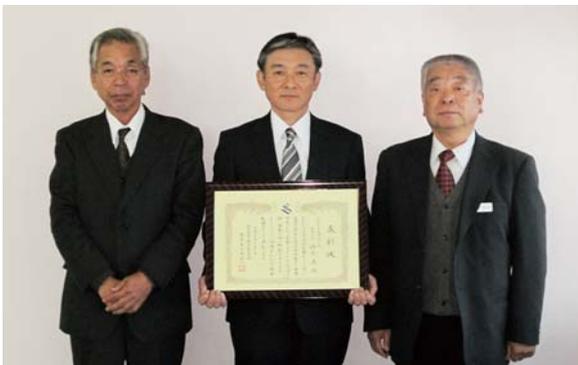
サンタがやってきた



サンタクロースからプレゼントをもらう子ども

12月17日から19日の三日間、曾於市子育て支援センターが市内三つの会場で「クリスマス会」を行い、延べ80組の親子が参加しました。当日は、エプロンシアターやハンドベルの演奏、ブラックシアターなどを親子で楽しみました。また、サンタクロースとトナカイが登場すると、子どもたちはおどろきながらも、笑顔でプレゼントを受け取りました。最後には、サンタ、トナカイと仲良く記念撮影をしました。皆の印象に残るすてきな一日になりました。

県優秀教職員表彰



表彰を受けた徳石さん（中央）

11月29日、大隅支所で県優秀教職員表彰の伝達式が行われました。この表彰は、学習指導や生徒指導、学校保健などの各分野において、顕著な実績のある教職員の功績を表彰し、意欲及び資質能力の向上に役立てることを目的として実施しているものです。今回、学校事務分野で表彰を受けた大隅北小学校事務職員の徳石透さんは、「多くの先輩方や関係者の皆さま方のご指導に感謝しています。今後も教育条件の整備に努めていきます」と話しました。

子供たちへ鴨肉を提供



つみれ汁を美味しく食べる児童たち

日本有機株式会社(にほんゆうき)が末吉小学校と末吉中学校へ薩摩鴨の肉を提供し、12月10日(末吉小学校)、12日(末吉中学校)に学校給食として児童、生徒へ振る舞われました。これは、DHAを含む鴨肉を、成長期の子供たちに食べてもらおうと行なわれたものです。

末吉小学校では、つみれ汁に調理されました。鴨肉を食べるのは初めてという児童が大半で、5年生の橋満伶王さんは「初めて食べましたが、柔らかくて美味しいです」と話しました。

おいしいお米をみなさんに



コンテストで最優秀賞、優秀賞に輝いた方々

12月26日、市長室で「第6回曾於市米自慢コンテスト」の表彰式が行われました。審査は三つの部門に分かれており、合計で97展の応募がありました。最優秀賞、優秀賞の6名が表彰されました。

部門別受賞者は次のとおりです。

普通作の部最優秀賞

久保善伸さん

減農薬の部最優秀賞

川崎利也さん

無農薬の部最優秀賞

長野修治さん

優秀賞

徳留温子さん

優秀賞

松ノ下幸人さん

優秀賞

桐原 勉さん

伝統行事の火を大切に



豊作を願い元気に地面をたたきます

1月13日、末吉町南之郷の久保集落で、伝統行事「久保のもぐらうつ」がありました。「もぐらうつ」はワラをまいた竹で家先などをたたいてまわり、豊作を祈る小正月の行事です。かつては市内各地で行われていましたが、現在では久保に残すのみです。

久保の小学生は田畑亜理紗さん一人。伝統行事を絶やしてはいけないと、今年から穂小学校に協力を呼びかけたところ、25人の児童が集まりました。田畑さんは「この行事が続いて欲しいです」と話しました。

歳末助け合い運動



募金を呼びかけるボーイスカウトたち

12月23日、市内のボーイスカウト、ガールスカウトがスーパードルなど四カ所で歳末助け合い募金活動を行いました。この奉仕活動は、同団が発足した昭和44年から、毎年行われています。当日は、22名の団員が募金を呼びかけ、約七万円のお金が集まりました。集まったお金は、共同募金とユニセフに寄付されます。

募金を呼びかけた鮫島圭敦さん(15才)は「外は寒かったけど、募金を頂いたときに、とても温かい気持ちになりました」と話しました。

細く長いそばを打とう



講師のそば打ちに見入る参加者

市観光特産開発センターと中谷地区むらづくり委員会が、そば打ち体験を12月15日（大隅）と22日（末吉）に開きました。これは、つなぎなし、そば粉100パーセントでも、細くて長く美味しいそばが打てることを広く知ってもらおうと、平成23年から行われています。

両日合わせて43名が参加。皆、講師の説明を熱心に聞いていました。今まで自己流で打っていたという方は「丁寧な説明を受けて打ったら、コツがつかめました」と満足していました。

吹奏楽フェスティバルを開催



素晴らしい演奏を披露

12月15日、「第3回曾於市吹奏楽フェスティバル」が、末吉総合センターで開催されました。当日は、市内の小中学校や高校、メセナ楽団の10団体が参加。吹奏楽、金管バンド、リコーダー演奏を始め、中学生個人が作曲した曲を演奏するなど、日頃の練習の成果を披露しました。

講師の長瀬義人氏は、「各団体がそれぞれに工夫し、素晴らしい演奏をしていました。みんなが大人になってもしっかりと携わってください」と講評しました。

地域に出向いてのコンサート



演奏のプレゼント

12月1日、メセナ楽団が主催する「ウインターコンサートin柳迫」が、柳迫小学校で開催されました。このコンサートは、メセナ楽団がより多くの皆さんに音楽を楽しんでもらいたいと、市内各地域に出向いて行っている演奏会です。

当日は、「日本の四季」や「スーパーマリオブラザーズ」など多くの人に馴染みのある曲の演奏や、使っている楽器の紹介などがありました。集まった地元の小学生や保護者たちは、笑顔で演奏を楽しんでいました。

天高く放水



色鮮やかな水が一斉に放たれます

新春恒例の消防出初式が1月12日に栄楽運動公園で行われました。

まずは、市内全団員と消防車輛が市中をパレード。式典では、統率のとれた通常点検や小隊訓練が披露されました。また、全分団による分列行進の後、功績のあった団員やその家族に対して、表彰状や感謝状が授与されました。

式典は一斉放水で締めくくられました。天高く放たれた色鮮やかな水に、訪れた観衆からは歓声があがっていました。